

ナガサワマサキ
〔氏 名〕 長 澤 正 樹 NAGASAWA Masaki
〔性 別〕 男
〔生年月日〕 1958 年 8 月 3 日生
〔職 名〕 教授 2009 年 10 月就任
附属特別支援学校 校長 2011 年 4 月就任
新潟大学教育・学生支援機構学生支援センター障害
学生支援部門長 2014 年 4 月就任
〔連絡方法〕 TEL 025-262-7228 FAX 025-262-7228
090-4629-1400
Eメール nagasawa@ed.niigata-u.ac.jp
〔最終出身校〕 ① 1981.3 新潟大学教育学部卒業
② 1987.3 上越教育大学大学院学校教育研究科修了
〔学 位〕 教育学修士（上越教育大学） 1987.3
〔経 歴〕 岩手県立一関養護学校教諭 （1981.4 ～ 1985.3）
岩手県立花巻養護学校教諭 （1987. 4 ～ 1994.3）
岩手県立久慈養護学校教諭 （1994. 4 ～ 1997.3）
新潟大学教育学部講師 （1997.4 ～ 1999.3）
新潟大学教育学部准教授（助教授） （1999.4 ～ 2009.9）
新潟大学教育学部教授 （2009.10 ～現在）
新潟大学教育学部附属特別支援学校校長
（2011. 4 ～現在）
新潟大学教育・学生支援機構学生支援センター障害学
生支援部門長 （2014.4 ～現在）

〔専門分野〕 特別支援教育学

〔研究課題〕 特別な支援を要する子ども(人)の指導(支援)と自立

- ① 課 題： 発達障害等特別な支援を要する子どもの指導法
キーワード： 問題行動、読み書き指導、言語訓練、社会的適応スキル
研究形態： 国内共同研究

- ② 課 題： インクルーシブ教育と特別支援教育
 キーワード： インクルーシブ教育、個別教育計画（IEP）、個別の教育支援計画
 研究形態： 国内共同研究
- ③ 課 題： 発達障害のある子ども(人)の自己決定支援
 キーワード： 自己管理、自己解決、自己評価、自己認知
 研究形態： 国内共同研究
- ④ 課 題： ASD 成人の自己認知と就労支援
 キーワード： ASD、自己認知、認知行動療法、就労支援プログラム
 研究形態： 国内共同研究
- ⑤ 課 題： 学校教育における教育相談
 キーワード： いじめ、不登校、虐待、非行、問題行動
 研究形態： 国内共同研究
- ② 課 題： 障害のある子どもの家族支援
 キーワード： 親支援プログラム、きょうだい支援
 研究形態： 国内共同研究

[所属学会]

- ① 日本特殊教育学会
 特殊教育学研究、Journal of Special Education Research 編集委員
- ② 日本発達障害学会
 発達障害研究編集委員
- ③ 日本 LD 学会
 LD 研究編集委員
- ④ 発達障害支援システム学会
 発達障害支援システム学研究編集委員、評議委員
- ⑤ 日本矯正教育学会

<資格等>

- ・特別支援学校教員専修免許状
- ・上級教育カウンセラー
- ・特別支援教育士スーパーバイザー
- ・ガイダンスカウンセラー

<著書等>

『特別支援教育 意欲をはぐくむ授業 授業づくりの五つの視点』、共著、2013.10、ジ
 アーズ教育新社

『KABC-II』 協力者、2013.8、丸善

『知的障害教育における専門性の向上と実際』、共著、2012.7、ジアーズ教育新社

『現代のエスプリ 8月号 特別支援教育』、共著、2011.7、ぎょうせい

『初めての特別支援教育』、共著、2010.3、有斐閣

『ことばの発達に遅れのあるこのための言語指導プログラム 111』、単著、2009.9、学苑社

『発達障害の子どもを育てる家族への支援』、共著、2007.11、金子書房。柘植雅義、長澤正樹他

『知的障害援助専門員養成通信教育テキスト 2007 ③事例研究』、共著、2007.7、財団法人日本知的障害者福祉協会

『中学・高校における LD・ADHD・高機能自閉症等の指導』、共著、2007.1、東洋館出版社、◎柘植雅義、秋田喜代美・長澤正樹他

『スクリプトによる社会的スキル発達支援』、共著、2006.11、川島書店、長崎勤、佐竹真次・長澤正樹他

『増補改訂版 LD・ADHD <ひとりでできる力>を育てる指導法』、共著、2006.5、川島書店、◎長澤正樹、増澤菜生、松岡勝彦他

『こうすればできる問題行動対応マニュアルー ADHD・LD・アスペルガー障害・高機能自閉症の理解と支援』、共著、2005.5、川島書店、◎長澤正樹、関戸英紀、松岡勝彦他

『特別支援教育ハンドブック』、共著、2005.4、第一法規、特別支援教育研究会編

『特別支援教育を支える行動コンサルテーション』、共著、2004.9、学苑社、◎加藤哲文。大石幸二、松岡勝彦、長澤正樹他

『LD・ADHD <ひとりでできる力>を育てる指導法』、共著、2003.4、川島書店、◎長澤正樹、増澤菜生、松岡勝彦他

『はじめての特別なニーズ教育』、共著、2000.6、川島書店、◎高山佳子、関戸英紀、長澤正樹他

『スクリプトによるコミュニケーション指導』、共著、1998.5、川島書店、◎長崎勤、

佐竹真次、宮崎眞、長澤正樹他

< 学術論文 >

『社会科の学力向上を目的とした学習活動と内容理解の自己評価シートの導入ー特別な教育的ニーズのある生徒が在籍する中学校通常学級の全生徒を対象にー』、共著、2013.8、LD 研究、22(3)、302 - 311.

『高機能自閉症の生徒を対象としたスクリプトによる会話スキル獲得訓練ー高齢者施設利用者との日常会話を想定して』、共著、2013.8、日本行動教育・実践研究、(33)、1 - 7.

『ビデオセルフモデリングによる望ましい行動の肯定的振り返りの有効性ー中学生を対象とした発達障害通級指導教室での実践』、共著、2013.8、日本行動教育・実践研究、(33)、8 - 14.

『特殊教育から特別支援教育へ』、単著、2012.11、新潟県教育総合研究センター第1研究委員会インクルーシブ教育研究委員会報告書 3-9.

『アスペルガー障害のある児童に対してビデオによるセルフモニタリングを用いた会話スキルの指導』、共著、2012.9、◎若林育子・長澤正樹、日本行動教育・実践研究、32、22-27

『知的障害のある子どもと関わる大人が知っておきたいこと、配慮したいこと』、単著、2012.8. 発達教育、31(9)、4-11.

『ユニバーサルデザインを基本にした特別支援教育とは？ー学級全体と個々に応じた教育の見極めを！』、単著、2012.7. 健、41(5)、23-28.

『子どもの問題行動に対する学校の支援』、単著、2012.4、教育と医学、707、20-27.

『広汎性発達障害者のソーシャルスキル認識の解明と自己評価プログラムの開発』、共著、◎有川宏幸、長澤正樹、2012.3、平成 21 年度～平成 23 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 研究成果報告 書

『発達障害のある中学生への個人告知に関する調査ー発達障害親の会保護者へのアンケートを通してー』 共著、2011.6. 日本行動教育・実践研究、31、33-38.

『新潟大学方式親のスキル訓練プログラム (Niigata University Parenting Skills Training Program: 通称 NIP- SKIP) の有効性と子どもの問題行動改善にかかわる要因の分析 (2) - アドバイザーが作る個別の指導計画の適用』 単著、2011.3 新潟大学教育学部研究紀要、3(2)、171-176.

『個別の指導計画作成と評価への本人参加の有効性-発達障害のある中高生を対象に』
共著、2010.6 日本行動教育・実践研究,30,21-27.

『Web カメラを用いた特別支援教育における突発的な児童問題行動の記録・共有システム』 共著、2010.6、永森正仁・長澤正樹・植野真臣、日本教育工学会論文誌,34(1),1-12.

『広汎性発達障害のある高校生を対象とした少年院出院後の社会復帰支援と個別の教育支援計画』単著、2010.3 矯正教育研究、55、81-84.

『問題行動改善を目的とした巡回指導型コンサルテーションモデルー担任教師への行動コンサルテーションを中心にー』共著、2009.5 日本行動教育・実践研究,29,36-42.

『長澤研究室のめざすものー発達障害への最近の取り組みと今後の動向』単著、2009.3, 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要,15,1-5.

『ADHD のある生徒を対象とした行動支援プログラムによる授業中の問題行動の改善』共著、2009.3、新潟大学教育学部紀要,第1巻第2号,107-116.

『新潟大学方式親のスキル訓練プログラム (Niigata University Parenting Skills Training Program: 通称 NIP- SKIP) の有効性と子どもの問題行動改善にかわる要因の分析 - 親による自己評価を通して』単著、2008.11、LD 研究、第17巻第3号,364-373.

『新潟大学方式言語訓練プログラム (Niigata University Language Training Program : 通称 Nu-LAT プログラム) による自閉症の幼児を対象とした言語指導』。共著、2008.7、発達障害支援システム学研究、第7巻第2号,65-73.

『発達障害のある中高生グループへの支援ー活動の質の向上を目指した取り組みの実際』共著、2008.6、日本行動教育・実践研究、28号、30-36.

『特別支援教育におけるナレッジマネジメントの実践』、共著 2008.1、電子情報通信会技術研究報告論文集,107,43-48.

『読み書き障害の児童に対する音読と作文による読み書き指導』、共著。2007.7、LD 研究、第16巻第2号、145-154.

『特別な教育的支援を要する児童に対する自発的な援助要請行動、話しかけ行動獲得の指導ー情緒通級指導教室と通常学級との連携による般化の促進ー』、共著 2007.7、日本行動教育・実践研究、第27号、1-5.

『発達障害のある子どもの教育を保障する道具ー特別支援教育における個別の教育支援計画と個別の指導計画の在り方ー』、単著 2007.3、新潟大学教育人間科学部紀要、第9巻第2号,191-206.

『新潟大学方式親支援プログラム (NIP-SKIP) の有効性』、共著、2006.11、発達障害支援システム学研究、第5巻、第2号,15-22.

『軽度発達障害のある中学生グループ活動のスタッフによるかかわりの有効性。』、共著、2006.6、日本行動教育・実践研究,26,13-17.

『新たな行動コンサルテーションモデル：COMPAS による問題行動の支援ー通常学級に在籍する ADHD のある児童を対象に』、共著、2006.7、LD 研究、第15巻、第2号、171-182.

『特別支援教育を推進するための親のパートナーシップの在り方ー小学校における親の学習支援ボランティアの実践と課題ー』、単著、2005.9、新潟大学教育人間科学部紀要、第8巻第1号、1-6.

『軽度発達障害の中学生の指導』、単著、2005.7、特別支援教育、第18号、46－51.

『知的障害のある中学生に対するトランプゲームスキル獲得の指導ー学童保育の実践を通して』、共著、2005.6、日本行動教育実践研究、第25号、17-21.

『教室で気になる子どもの支援と行動教育』、単著、2005.6、日本行動教育・実践研究、第24号,1-10.

『LD のある中学生男子生徒を対象とした接触行動の低減と社会的スキル獲得の支援』、共著、2004.6、日本行動教育・実践研究,第24号,23-33.

『特別支援教育を推進するために何が必要かーカリキュラム、支援、教育措置の決定についてー』、単著、2004.3、新潟大学教育人間科学部紀要、第6巻第2号、239-248.

『自閉症の児童の清掃スキル獲得に対するセルフマネジメントの効果』、共著、2003.12、特殊教育学研究、第41巻第4号、425-432.

『大学教員の行動コンサルテーションによる地域の障害児教育支援モデル：COMPASー障害のある子どもを持つ保護者・担任教師・周辺市町村の教師を対象にー』、共著、2003.12、新潟大学教育人間科学部紀要、第6巻第1号、11-22.

『学習障害のある児童への支援事業に対する小学校教師の意識』、単著、2002.10、新潟大学教育人間科学部紀要、第5巻第1号、55-59.

『エンパワメントによる無力化の改善と応用行動分析による評価』、共著、2002.3、矯正教育研究、第47巻、75-80.

『学習障害児親の会と作成する個別教育計画ーソーシャルスキルの獲得』、日本行動教育・実践研究、単著、2002.5、第22号、1-6.

『学習障害のある子どもへのセルフマネジメントの指導ー親の会が主催する検討会議による個別の指導計画の作成と評価』、単著、2002.5、発達障害支援システム学研究、第1巻第2号、43-50.

『インターネットを活用した教育相談システム』、単著、2002.3、発達の遅れと教育、第535号、24-25.

『個別の指導計画の現状と課題』、単著、2001.10、新潟大学教育人間科学部紀要、第4巻第1号、1-22.

『Specail Education から Specially Designed Instruction へー社会的不利益を保障するIEPと応用行動分析』、単著、2001.6、日本行動教育・実践研究、第21号、4-6.

『重度知的障害のある児童生徒を対象とした自己選択の実態』、単著、2001.5、発達障害研究、第23巻第1号、54-62.

『言語訓練と、言語訓練を目的とした個別教育計画作成のためのホームページ』。単著、2001.2、新潟大学教育人間科学部紀要、第3巻第2号、229-241.

『中途障害のある児童に対し情緒の安定を目的とした指導法』、共著、2000.6、日本行動教育・実践研究、20号、11-15.

『自閉症の子どもの言語獲得と認知発達との関係（I）』、単著、2000.2、新潟大学教育人間科学部紀要、2巻、2号、133-138.

『通常の学級に在籍する障害のある児童の支援に関する研究』、共著、1999.9、新潟大学教育人間科学部紀要、2巻、1号、15-20.

『交流教育の実際と統合教育に対する小学校教師の意識』、共著、1998.9、新潟大学教育人間科学部紀要、1巻、1号、1-10頁、©長澤正樹、滝川国芳

『社会的有価値化に基づく矯正教育の展開と応用行動分析による評価』、共著、1998.3、新潟大学教育学部紀要、39巻、2号、265 - 269頁、◎長澤正樹、中島学

『自閉症児の言語訓練における個別教育計画と指導の形態の分析』、単著、1997.9、新潟大学教育学部紀要、39巻、1号、11 - 17頁

『重度自閉症児の音声を伴う要求言語行動の形成：精神薄弱養護学校の日常場面での試み』、共著、1996.6、行動分析学研究、9巻、2号、128 ~ 136頁、◎長澤正樹、藤原義博

『重度自閉症児の要求サイン言語の獲得』、単著、1995.3、特殊教育学研究、32巻、5号、99 ~ 104頁

『言語指導における時間遅延法』、単著、1993.9、障害児教育方法研究、2巻、15 ~ 17頁

『自閉症児の言語行動の獲得—いわゆる御用学習を通して—』、共著、1993.6、特殊教育学研究、31巻、1号、21 ~ 29頁、◎長澤正樹、森島慧

『重度精神遅滞児に対するサインと音声の命名化の有効性』、共著、1992.9、障害児教育方法研究、1巻、25 ~ 31頁、◎長澤正樹、森島慧

『機能的コミュニケーション指導による最重度精神遅滞児の要求サインの獲得』 共著、1990.3、発達障害研究、12巻、1号、67 ~ 73頁、◎長澤正樹、森島慧

『機能的言語指導法による自閉症児の要求言語行動の獲得』、共著、1992.3、特殊教育学研究、29巻、4号、77 ~ 81頁、◎長澤正樹、森島慧

『重度障害児の個別教育プログラムの作成と実践（I）』、共著、1989.3、上越教育大学研究紀要、8巻、140 ~ 147頁。◎森島慧、長澤正樹

<その他の活動>

○委員会関係

(現在)

- ・(仮称)障がいのある人もない人も一人一人が大切にされいかされる新潟市づくり条例検討委員会座長
- ・新潟県新しい特別支援学校づくり検討委員会委員長
- ・新潟県特別支援学校就労支援検討委員会
- ・新潟市就学指導委員会委員長
- ・新潟県発達障害者支援連携会議委員長

- ・新潟市発達障がい者支援体制整備検討委員会
- ・新潟市特別支援教育推進体制事業運営会議委員長
- ・新潟県発達障害者支援体制整備検討委員会 及び 新潟県発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業運営会議委員

(過去)

- ・文部科学省中央教育審議会専門委員
- ・文部科学省教育課程等研究協議会軽度発達障害分科会助言者

○カウンセラー関係

- ・新潟市教育委員会スクールカウンセラー
- ・新潟市いじめカウンセラー
- ・新潟市教育相談センタースーパーバイザー